

## 学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

出張等も続き、久しぶりの学校便りとなりました。先日、本校ではプール開きが行なわれましたが、肌寒い日が続き、水温気温が上がらず、なかなか水泳の学習ができません。今週も梅雨らしい日が続きそうですね。

さて、今月6月は『いのちを見つめる強調月間』であることをお伝えしました。本校でも、月初めの最初の1週間「いのちを見つめる週間」を中心として、様々な活動に取り組んでいます。

### 《 公開授業【道徳】 》

各学級において、「命・生命・いのち」に関する道徳の授業を公開しました。それぞれの学級で、自分自身や他の命の尊さ、大切さについて、深く考え、互いに学び合いました。



### 《 魚のさばき方教室 》

今年も漁協のご協力のもと、魚のさばき方を指導していただきました。今回の魚は立派な「イサキ」。新鮮で見るからにいいしそでした。



本校では、毎年全員が参加しているので、子ども達の腕前も上がっているようです。今年が初参加の私も初チャレンジしてみました。3枚におろし、刺身にするのですが、悪戦苦闘！結果としては「刺身らしきもの」ができました。子ども達と魚の大きさは同じくらいだったのですが、出来た刺身の量はなぜか少なくなりました・・・。



大切な命を繋ぐために魚の命をいただきます。そんな「食と命」に関する体験的な学びであり、地域の産業を理解する学びでもあります。子ども達に良い体験をさせて頂き、ありがとうございます。



### 《 ふれあい給食 》

保護者の方、民生委員さん、学校評議員さん、地域おこし協力隊の方など、22名のお客様をお招きし、ふれあい交流給食を行ないました。子どもの頃食べた給食と比べていかがだったでしょうか？パンのみではなくお米の給食になったり、食器が樹脂製に変わったり。また、メニューも豊富です。献立以外にもいろいろな変化があり、進化しています。

子ども達との会話で笑顔がこぼれ、「何十年ぶりかな〜」「おいしいですね」といった感想の声も聞かれました。

ここでも食育の観点から「食と命」について学び、また食材の生産者の方々や給食を作ってくださる方々への感謝の思いを持ったり、地域の方々との温かなふれあいをとおして、様々な命あるものの素晴らしさや有り難さ、人と人が関わりあうことの幸せなどを感じたりして、たくさんのことを学んだものと思います。

ご多用の中、ご来校いただきました皆様、ありがとうございました。これからも子ども達を見守りください。

